

問1 1901年に操業を開始した官営の八幡製鉄所が、福岡県の北九州（八幡）に建設された主な理由として、当時の地理的・経済的背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

1. 燃料となる石炭を産出する筑豊炭田が近く、中国からの鉄鉱石の輸入にも便利な場所であった
2. 養蚕業が盛んな地域であり、富岡製糸場と同様に輸出向けの製品を製造するのに適していたため。
3. 日本初の本格的な石油コンビナートを建設するために、広大な埋立地を確保できたため。
4. 日露戦争の勝利によって獲得した南満州の権利を維持するため、軍事拠点に近い立地が求められたため。

問2 1894年、朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる大規模な農民の蜂起が発生し、これをきっかけに日本と清が朝鮮への出兵を決定したことで日清戦争へと発展しました。この契機となった出来事の名称を選びなさい。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 東学農民戦争
2. 義和団事件
3. 甲申事変
4. 壬午軍乱

問3 明治政府が欧米の文化や技術を取り入れるために招いた「お雇い外国人」の一人で、1876年に札幌農学校に赴任したクラークなどと同様に日本の近代化に寄与しながらも、日本の伝統文化を高く評価した人物がいます。岡倉天心とともに日本美術の価値を再発見し、古美術の保護や東京美術学校の設立に尽力したこのアメリカ人の名前を答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. フェノロサ
2. モース
3. ナウマン
4. コンドル

問4 1895年に結ばれた下関条約によって、日本が清から一度は譲渡を受けたものの、ロシア・ドイツ・フランスの3か国による強い要求（三国干渉）を受け、清に返還することとなった半島を何といいますか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

1. 朝鮮半島
2. 遼東半島
3. 山東半島
4. 能登半島

問5 17億円を超える巨額の軍事費を投じた日露戦争の講和内容が、期待していたものより不利であるとして、1905年に東京で発生した大規模な暴動事件を何というか、次の中から選びなさい。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 日比谷焼打ち事件
2. 米騒動
3. 大逆事件
4. 血盟団事件

問6 1871年に岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣された「岩倉使節団」について、その派遣の主な目的と当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 幕末に結ばれた不平等条約の改正に向けた準備交渉を行うとともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること
2. プロイセン（ドイツ）の憲法を模範とした大日本帝国憲法の草案を作成するため、現地の法制度を詳細に調査すること
3. ロシアの南下政策に対抗するため、イギリスとの間で日英同盟を締結するための軍事的な同盟交渉を行うこと
4. 自由民権運動の高まりを受け、国会開設の準備として欧米の議会運営の実態を視察し、帝国議会のモデルを探ること

問7 明治政府が掲げた「富国強兵」のスローガンのもと、群馬県の富岡製糸場のように官営工場を建設し、近代的な産業を育成しようとした政策を何といいますか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 殖産興業
2. 文明開化
3. 廃藩置県
4. 地租改正

問8 1881年に明治政府が10年後の国会開設を約束したことを受けて、自由民権運動の指導者であった板垣退助を党首として結成された、日本で最初の政党を選びなさい。（2025年 山口公立入試 類似）

1. 自由党
2. 立憲改進黨
3. 日本自由党
4. 立憲帝政党

問9 明治時代後半、日本の産業革命を牽引した「紡績業」の貿易構造に関する説明として、1900年の輸出入統計の状況に基づいた記述として最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 原料である綿花の輸入が全輸入額の中で最大となり、生産された綿糸が主要な輸出対外品となった。
2. 国内産の綿花を原料として用いることで、綿糸の輸出額が生糸の輸出額を上回るようになった。
3. 綿糸を大量に輸入して国内で加工し、衣類などの製品として輸出する仕組みが主流であった。
4. 生糸の輸入額が最も多くなり、それをもとに綿糸を製造して輸出する産業が発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 燃料となる石炭を産出する筑豊炭田が近く、中国からの鉄鉱石の輸入にも便利な場所であったため。	近代的な製鉄所の操業には、大量の石炭と鉄鉱石の確保が不可欠です。八幡は国内最大級の石炭産地である筑豊炭田に隣接しており、さらに海に面しているため、中国（清）の大冶鉄山などから原料となる鉄鉱石を輸入する際にも非常に有利な立地条件を備えていました。
問2	答え 1 東学農民戦争	朝鮮半島の宗教団体である「東学」の信徒を中心とした農民が、重税の廃止や外国勢力の排除を求めて起こした反乱です。朝鮮政府が清に援軍を要請したのに対し、日本も公使館保護などを名目に出兵したことが、日清戦争の直接的な原因となりました。
問3	答え 1 フェノロサ	明治初期の日本は欧化主義の影響で、伝統的な日本美術が軽視され、多くの文化財が破壊されたり海外へ流出したりしていました。哲学者として来日したフェノロサは、その美しさに感銘を受けて岡倉天心とともに文化財調査を行い、日本美術の体系化と保護、そして教育体制の整備に大きな役割を果たしました。
問4	答え 2 遼東半島	日清戦争に勝利した日本は、下関条約で賠償金の支払いのほか、台湾や澎湖諸島、そしてこの半島を譲り受けました。しかし、ロシアは自国の東アジア進出を妨げると考え、ドイツ・フランスを誘って日本に圧力をかけ、返還を迫りました。日本はこの要求を受け入れざるを得ず、返還した後はロシアへの対抗意識を強めることとなりました。
問5	答え 1 日比谷焼打ち事件	ポーツマス条約の内容が公表されると、賠償金が得られないことなどに不満を持った人々が東京の日比谷公園に集まり、講和反対の国民大会を開きました。この集會に集まった群衆の一部が暴徒化し、警察署や政府系の新聞社、大臣官邸などを襲撃する大規模な騒乱へと発展しました。この事件は、戦争による負担を強いられてきた民衆の不満が、政府の外交姿勢に向けられた結果として知られています。
問6	答え 1 幕末に結ばれた不平等条約の改正に向けた準備交渉を行うとともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	明治政府は、江戸幕府が欧米諸国と結んだ不平等条約を改正することを急務と考えていました。1871年に派遣された岩倉使節団は、条約改正のための予備交渉を行うとともに、日本の近代化を推し進めるために欧米の政治、経済、教育、産業などの実態を直接視察し、帰国後の国づくりに活かすことを目的としていました。他の選択肢にある憲法調査や日英同盟、議会制度の調査は、より後の時代に行われたり、別の目的で実施されたりした出来事です。
問7	答え 1 殖産興業	明治政府が近代産業を育成し、資本主義の基礎を築こうとした一連の政策を指します。官営模範工場の建設や交通・通信網の整備などが進められました。選択肢にある「文明開化」は、西洋の文化や制度を取り入れたことによる生活様式の変化を指す言葉であり、産業育成政策そのものではありません。
問8	答え 1 自由党	1881年に出された「国会開設の勅諭」により、10年後の国会開設が約束されました。これに備えて、国民の意見を政府に届けるための組織として結成されたのが日本初の政党である自由党です。第二次世界大戦後に結成された日本自由党や、大隈重信が結成した立憲改進黨との混同に注意が必要です。
問9	答え 1 原料である綿花の輸入が全輸入額の中で最大となり、生産された綿糸が主要な輸対外品となった。	当時の貿易構造は、軽工業を中心に発展していました。1900年のデータでは、紡績業の原料となる綿花が輸入の約20.7パーセントを占めて最大品目となっており、それをもとに機械で製造された綿糸が、生糸に次ぐ輸出の柱となっていました。これにより、日本はそれまでの手工業的な生産から、機械による大量生産と輸出を基盤とする工業国へと転換していきました。